



体指会報

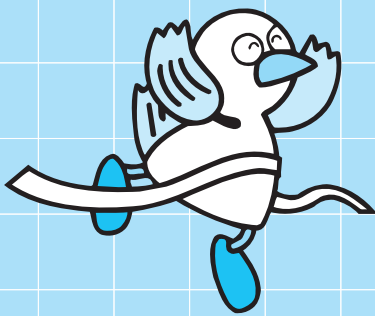


彩の国
埼玉県

SAITAMA SPORTS TRAINERS ASSOCIATION

Vol.33 2012年1月31日

- 発行／埼玉県体育指導委員協議会
- 発行責任者／宮嶋武志
- 編集／埼玉県体育指導委員協議会広報委員会
〒362-0031 上尾市東町3-1679
TEL・FAX 048-779-7537
E-mail: sai-taishi03@cronos.ocn.ne.jp



功労者
表彰式



体育指導委員セミナー



体カテスト
認定講座





埼玉県体育指導委員協議会会長 宮嶋 武志

どあいらび

埼玉県体育指導委員の皆様こんにちは。お元気で活躍のことと存じます。

さて、平成二十三年は大変変化の激しい年となりました。一つは三月の東日本大震災です。東北地方はもとより関東地方にも大変な被害があり、残念ながら今年度の茨城県での関東大会は中止となりました。また、皆様に義援金で大変な協力をいただき感謝申し上げます。

二つ目は、私たちの基本法である「スポーツ振興法」制定から五十年が経過し、昨年八月「スポーツ基本法」に改定され、私たちは「スポーツ推進委員」となりました。しばらく戸惑うと思いますが、早く慣れましょう。

三つ目は、国が公益法人制度改革を行い、関連三法を成立させました。そこで、継続を希望するスポーツ団体は対応への準備を進めることになりました。

全国体育指導委員連合も、平成二十三年三月の総会で新公益法人に移行することを決定し、平成二十三年四月付けで全国体育指導委員連合から社団法人全国体育指導委員連合の

公益社団法人移行と個人会員制度導入について「趣意書」が全国に送付されました。

十月一日開催された第一回研修会において埼玉県スポーツ振興課の長谷川副課長の「スポーツ基本法」についての講義に続き、「体育指導委員の活動環境変化」というテーマで公益社団法人への移行について私から説明したところです。皆様におかれまして、ぜひご理解とご協力をお願いします。

環境が大きく変化する今、互いに切磋琢磨し地域スポーツ推進のため、研鑽しましょう。



埼玉県教育局市町村支援部スポーツ振興課長 吉田 正

どあいらび

スポーツ推進委員の皆様方には、日ごろより地域スポーツのリーダーとして本県のスポーツ・レクリエーションの振興に取り組んでいただいていることに深く敬意を表しますとともに、心より厚く感謝申し上げます。

さて、昨年八月二十四日にスポーツ振興法を五十年ぶりに全部改正したスポーツ基本法が施行されました。スポーツ基本法では、新たに「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利である」ことが盛り込まれるとともに、地域の特性に応じたスポーツに関する施策を策定、実施する責務が地方公共団体に課されました。

体育指導委員についても、「住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言」に「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整」の役割も加えられるとともに、名称もスポーツ推進委員となりました。

各委員の皆様には、今後、地域スポーツのコーディネーターとしてのより一層の活躍が期待されています。

本県では、週に一回以上スポーツをする二十歳以上の県民の割合を五十五%まで増加させることを目標に据え、スポーツを行う「場」と「機会」の拡充に取り組んでいます。各地域で御活躍されている皆様の日頃の活動は、こうした取り組みを推進する上では欠かすことができない大きな原動力となります。今後とも、地域のスポーツ振興を大いに盛り上げていただくことを期待します。

結びに、皆様方の御健勝、御活躍と貴協議会の益々の御発展を祈念申し上げます、あいさついたします。



全国スポーツ推進委員研究協議会に参加して



「文部科学大臣表彰」を受賞して
鴻巣市スポーツ推進委員連絡協議会 曾山保男

第五十二回全国スポーツ推進委員研究協議会における東京大会が、東京体育館にて平成二十三年十一月十日（木）～十一日（金）の二日間の日程で盛大に開催され、全国各地で活躍している約四〇〇〇名の体育指導委員が集まりました。その中で「文部科学大臣賞」という荣誉ある素晴らしい賞を受賞することが出来ましたことは大変に嬉しく思いますと共に、諸先輩の皆様、また平素よりご指導ご協力を賜り、叱咤激励をして下さる同僚の皆様、心温まるご配慮の賜物と深く感謝しております。

体育指導委員を委嘱されて三十二年、ニュースポーツの普及活動を主に、地域の皆様との出会いを楽しみに、健康維持を兼ねての活動をしてまいりました。時代の流れとともに市町村合併で体育指導委員も二十五名から四十名に増え（現在三十五名）、如何に地域の皆様に生涯スポーツを振興、普及できるかと計画・立案・広報・指導と、一丸となって活動をして

きました。結果、平成十七年、第四十六回全国体育指導委員研究協議会に於いて「全国優良団体表彰」を拝受いたしました。この受賞を機に全員が新たな気持ちで、笑顔を絶やすことなく生涯スポーツの普及活動と健康づくりを楽しく活動してきました。

また、昨年八月二十四日にスポーツ基本法が新たに施行され、今までの「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」と名称が変わり、これまでのスポーツの指導及び助言に加え、スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整が職務となりました。こうした変化する時代の中で、生涯スポーツへの多様なニーズに柔軟に対応できるように頑張りたいと思います。これからも健康に気をつけ、一人の間として決しておこなうことなく精進していきたいと思えます。この受賞にあたって、ご尽力いただいた関係各位の皆様方に、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。



「スポーツ推進委員功労者表彰」を受賞して
越谷市スポーツ推進委員連絡協議会 山本幸子

第五十二回全国スポーツ推進委員研究協議会東京大会に於きまして功労賞受賞という身に余る荣誉を戴きましたことに、心よりお礼を申し上げます。この賞は、私個人の受賞というより越谷市のスポーツ行政・並びに多くのスポーツ推進委員の仲間たちの努力とその結果に対する評価を戴けたものと思ひ、関係各位に心より感謝いたす次第でございます。

越谷市は昭和四十九年に全国に先駆けてスポーツ・レクリエーション都市宣言をし、全ての市民が「健康で楽しく働き、明るいスポーツのまちづくり」を目指し、その環境の整備を図って参りました。それまで競技スポーツで頂点を目指して活動していた私は、越谷市にスポーツで貢献出来ることは何かと考えた末、昭和六十年より市の体育指導委員として活動させていたとき、「生涯スポーツ」の普及に努めて参りました。この間、たくさんの方から叱咤激励され、

多くの事を経験させていただきながら、何とか現在まで務めることができました。スポーツ推進委員の仲間の皆さまには言葉では言い尽くせない程お世話になり、ありがとうございます。本紙面をお借りして感謝申し上げます。

さて、少子高齢化社会に突き進む現代社会に於いて、健康生活に対する意識の高まりと共に、これまでに潜在的スポーツ愛好者だった人達が、私たちがスポーツ推進委員の活動によって大きく意識を変え、仲間作りの輪に加わってくるものと期待しております。老若男女を問わず、県民・市民の皆さんが日常生活の中でスポーツを通して「仲間づくりや、生きがい」が見つけられるよう、私たちは立案力・企画力を高め、スムーズな事業の運営が出来るよう、スポーツ推進委員としての資質の向上に努めなければならぬと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国スポーツ推進委員研究協議会に参加して



「全国優良団体表彰」を受賞して
羽生市体育指導委員会委員長 小暮勝久

第五十二回全国スポーツ推進委員研究協議会が去る十一月十日・十一日の二日間にわたり東京体育館に於いて全国から三九〇名を越える参加者のもと盛大に開催されました。

表彰式では、栄えある「全国優良団体表彰」を羽生市体育指導委員会が拝受いたしました。これもひとえに、諸先輩の方々ならびに体育関係者さらには北埼玉連絡協議会・埼玉県体育指導委員協議会皆様方のご指導とご支援の賜と心より厚く御礼申し上げます。

今年度から「スポーツ基本法」が成立施行され「体育指導委員」の名称が「スポーツ推進委員」に変わり、地域スポーツ推進における指導助言はもとよりコーディネーターとしての役割が求められることになりました。

私達は、県域はもとより全国のスポーツ推進委員と連携、情報交換をして自己研鑽に努め地域に根ざした生涯スポーツを推進しなければなりません。

羽生市では、従来の活動はもとより、ふたつの取組をメインに活動しております。

第一は、少年少女スポーツ団を中心にプロのアスリートを講師として体操教室・サッカー教室・野球教室を実施してまいりました。子供達に刺激を与え、プロを目指す選手を育成できればと願っております。

第二に、親子三世代で楽しめるニュースポーツのフロアカーリングです。

全国交流大会を始め市民大会さらに出前教室から出前大会まで積極的に一年を通して取組んでおります。それにプラス「むじなもん」体操です。作詞・作曲・振付までオリジナルで七体のユルキャラ仲間達と楽しく準備体操を行なっております。

羽生市体育指導委員三十五名は、これからも一致団結して地域のスポーツリーダーとして生涯スポーツの振興に誠心誠意全力で邁進していく所存です。

平成23年度スポーツ推進委員表彰者一覧

○文部科学大臣表彰(4名)

1	松島 良一 (まつしまりょういち)	加須市 (東部支部)
2	川嶋 二郎 (かわしま じろう)	行田市 (東部支部)
3	馬場 典成 (ばば つねよし)	朝霞市 (南部支部)
4	曾山 保男 (そやま やすお)	鴻巣市 (南部支部)

○全国30年勤続スポーツ推進委員表彰(16名)

1	森泉 隆 (もりいずみ たかし)	さいたま市 (さいたま支部)
2	北川 久 (きたがわ ひさし)	さいたま市 (さいたま支部)
3	榊原 秀忠 (さかきばら ひでただ)	川口市 (南部支部)
4	曾山 保男 (そやま やすお)	鴻巣市 (南部支部)
5	大島 昌子 (おおしま まさこ)	鴻巣市 (南部支部)
6	竹本 静子 (たけもと しずこ)	桶川市 (南部支部)
7	秋山 正恒 (あきやま まさつね)	所沢市 (西部支部)
8	小室久美子 (こむろ くみこ)	狭山市 (西部支部)
9	山崎 義孝 (やまざき よしたか)	狭山市 (西部支部)
10	佐藤 茂 (さとう しげる)	ふじみ野市 (西部支部)
11	堀木 豪 (ほりき つよし)	ふじみ野市 (西部支部)
12	宮前 昌晴 (みやまえ まさはる)	日高市 (西部支部)
13	上島 三介 (かみしま みすけ)	三芳町 (西部支部)
14	浅見 昇 (あさみ のぼる)	神川町 (北部支部)
15	大熊 一郎 (おおくま いちろう)	加須市 (東部支部)
16	関原 紀子 (せきはら のりこ)	加須市 (東部支部)

○全国スポーツ推進委員功労者表彰(7名)

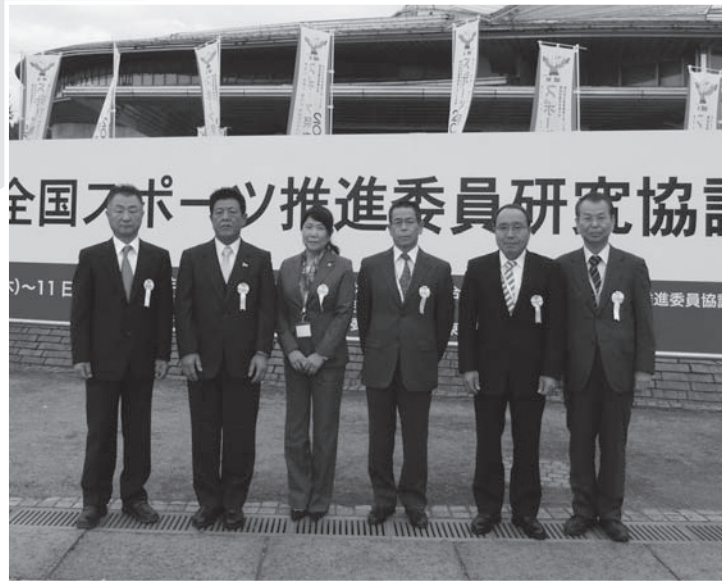
1	岩崎 充晃 (いわさき みつあき)	さいたま市 (さいたま支部)
2	坂田 政司 (さかた せいじ)	草加市 (南部支部)
3	遠藤 康二 (えんどう こうじ)	川越市 (西部支部)
4	杉田 清 (すぎた きよし)	ときがわ町 (西部支部)
5	茂木 一郎 (もてぎ いちろう)	深谷市 (北部支部)
6	富田 栄 (とみた さかえ)	熊谷市 (北部支部)
7	山本 幸子 (やまもと さちこ)	越谷市 (東部支部)

○全国スポーツ推進委員優良団体表彰(1団体)

1	羽生市体育指導委員会 (はにゅうしたいいくしどういんかい)
---	-------------------------------



文部科学大臣表彰



スポーツ推進委員功労者表彰



スポーツ推進委員優良団体表彰

羽生市体育指導委員会



30年勤続スポーツ推進委員表彰



「関東体育指導委員研究大会表彰」を受賞して

毛呂山町スポーツ推進委員会 関 清 隆

今回、「関東体育指導委員研究大会表彰」を受賞することができたことを、大変光栄に思うとともに、関係皆々様に深く感謝申し上げます。

私は、昭和五十一年の四月に毛呂山町体育指導委員となりました。当時まだ二十四歳でしたが、その前年の十一月に町のソフトボール協会を立ち上げたばかりの時であり、休日からは朝から晩までソフトボール三昧という状態でありましたので、僭越ながら「委員会内での役職にはつかない」という条件のもとで委員を受けさせていただきました。

以来、主に町内を中心に細々と活動してまいりましたが、三十年目に全国体育指導委員連合の感謝状を頂戴したのを契機に、ご恩返しの意味をも含めて、副委員長・委員長の役職を引き受けさせていただいております。この間に毛呂山町の社会体育は、スポーツ健康都市宣言を行ったり、彩の国まごころ国体ソフトボール競技成年男子の部の会場地になったりしながら、体育行政・体育施設の両面で、埼玉県でもトップクラスといえる実績をあげてまいりました。自分自身でも少しはその一端が

担えたのではないかと自負しております。

長引く不況や、大震災の影響等により、社会体育の周辺環境においても、特に財政面で厳しい状況にありますが、スポーツ基本法が施行されたり、スポーツ庁の創設が伝えられたりと、私たちにとって明るい方向もみえてきています。これからも力いっぱい社会体育の発展に寄与したいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



「関東体育指導委員功労賞」を受賞して

川島町体育指導委員協議会 阿部 洋行

昨年、三月十一日の東日本大震災で被災されました皆様方に、心よりお見舞いを申し上げますとともに一日でも早い復旧、復興をお祈りいたします。

本年度の関東体育指導委員研究大会は、六月三日、四日の二日間で茨城県土浦市で開催が予定されておりました。例年ですと大会は表彰式や講演、分科会に分けて研究大会が行われていましたが、会場の土浦市も被災されすべてが中止となり、今年度の関東体育指導委員協議会表彰式は各県毎となり、埼玉県は、七月二十三日に本年度の体育指導委員セミナー同日にスポーツ総合センターにて行われました。

私も受賞者の一員として功労者表彰を受賞させていただきました。この受賞は私一人のものではなく、仲間の体育指導委員をはじめ、関係者皆様方のお心遣いあつてのことと心より感謝申し上げます。

二十年程前に体育指導委員の任命(当時は)を受けた時、私に何が出来るかと心配いたしましたが、先輩諸氏のご指導や地域の多くの皆さんと知り合うことができ、多くの方に支え

られながら活動して参りました。私たち体育指導委員の活動は行政と協調し、スポーツだけでなく地域の皆様との交流を図る機会も多く、多忙ではありますが楽しく活動しております。

川島町でも年々高齢化が進んでおりますが、これからは今まで運動に関心のない人たちにも、無理をせず体を動かせる運動などの方策を考え、少しでも多くの方々に参加して戴き、健康の維持増進を図り楽しく過ごせるようにしたいと思います。

体育指導委員を取り巻く環境も変化しておりますが、これからも地域の人たちと一緒にスポーツを楽しむながら活動して参りたいと思っております。



平成23年度 関東体育指導委員協議会表彰



No.	氏名	性別	市町村名	体指歴
1	岡安 節子	女	さいたま市	24年
2	下田 英吾	男	朝霞市	24年
3	佐々木真人	男	和光市	20年
4	飯田 恭人	男	桶川市	26年
5	山田 上	男	川越市	23年
6	関 清隆	男	毛呂山町	36年
7	阿部 洋行	男	川島町	22年
8	長島 利夫	男	皆野町	21年
9	七井 富子	女	熊谷市	23年
10	保科 秀子	女	熊谷市	22年
11	影山 悦夫	男	久喜市	26年
12	甲田 侃	男	白岡町	20年

平成23年度 埼玉県体育指導委員協議会功労賞表彰

No.	氏名	性別	市町村名	体指歴
1	柳 満	男	さいたま市	16年
2	田中 実	男	さいたま市	16年
3	宇田川幸男	男	さいたま市	15年
4	斉藤 悦子	女	さいたま市	15年
5	立川 雅子	女	さいたま市	15年
6	岡沢 義昭	男	川口市	16年
7	平林 仁	男	川口市	12年
8	山田 浩司	男	川口市	12年
9	白築 章男	男	川口市	10年
10	金子 貢司	男	草加市	13年
11	武山矢太郎	男	蕨市	11年
12	茂木 善行	男	朝霞市	13年
13	福辺 順子	女	新座市	15年
14	林 昭次	男	上尾市	14年
15	新谷真知子	女	桶川市	15年
16	松本 直子	女	北本市	12年
17	小野寺奈保子	女	伊奈町	11年
18	久高 健	男	川越市	14年
19	伊藤 高夫	男	川越市	13年
20	石黒 健一	男	川越市	13年
21	矢嶋奈津子	女	所沢市	14年
22	藤澤 洋子	女	狭山市	16年
23	伊與部宏思	男	飯能市	16年
24	横手 伸行	男	飯能市	14年

No.	氏名	性別	市町村名	体指歴
25	岩井 保	男	入間市	13年
26	秋和 敏彦	男	毛呂山町	13年
27	川越 一弘	男	三芳町	11年
28	室山 陽子	女	三芳町	11年
29	寺田 浩之	男	東松山市	15年
30	小原 利恵	女	滑川町	19年
31	関根 敏明	男	東秩父村	14年
32	小森 勇二	男	小鹿野町	14年
33	金子 健一	男	熊谷市	15年
34	寺田智恵子	女	熊谷市	15年
35	久住 治	男	深谷市	14年
36	松本 幸男	男	寄居町	13年
37	栗田 岳彦	男	本庄市	16年
38	田端千恵子	女	美里町	13年
39	川羽田敏夫	男	久喜市	10年
40	唐沢 治郎	男	春日部市	13年
41	坂本ゆかり	女	幸手市	12年
42	長島美智子	女	白岡町	12年
43	鈴木 容子	女	杉戸町	10年
44	渡邊 洋子	女	加須市	15年
45	梅澤麻衣子	女	加須市	15年
46	田口 貴司	男	加須市	13年



平成23年度 埼玉県体育指導委員協議会20年勤続表彰受賞者

	さいたま市(3)	8	簗口竹蔵	14	石堂悦子	20	犹守和子	26	荒井佳子
1	島村真津代	9	渡辺忠治	15	佐藤光重	21	市川政己		八潮市(2)
2	赤穂紀子	10	三浦文二		狭山市(1)		寄居町(2)	27	細谷清貴
3	松本武詞	11	田中証	16	加島信彦	22	山口高行	28	関伸吾
	川口市(8)		和光市(1)		飯能市(1)	23	永嶋かほる		吉川市(1)
4	八巻一夫	12	佐々木真人	17	田辺芳雄		深谷市(1)	29	鈴木三四郎
5	高橋敏夫		上尾市(1)		嵐山町(4)	24	新井弥生		白岡市(1)
6	飯塚武	13	尾田彰博	18	横瀬秀男		久喜市(2)	30	甲田侃
7	遠藤喜三男		川越市(2)	19	永島純子	25	島田実		



わがまちの活動



さいたま市見沼区は、さいたま市北東部の緑豊かな人口十五万人の区です。スポーツ推進委員は二十六名、四地区の体育振興会から推薦され、理事も兼ねているので活動の場がたくさんあります。県や市での研修会で学んだ事を市の事業や地区での活動に生かしております。

市から委託されたファミリィバドミントン事業は、五年目で毎年大会を楽しみにしている団体が増えております。また、同じくビーチボール大会も小学校PTA中心に多くの参加者を迎え開催しているところです。

また、ニユースポーツのスポーツ吹矢、ペタンク、バツゴ、ミニテニス等新しい種目の普及に努めております。この活動の中から共感された方がスポーツ推進委員として活動に参加しております。

二〇一五年、埼玉県では週一回以上スポーツする人の目標を五十五%としており、さいたま市も「一市民一スポーツ」を基本理念として進めてきました。その事を踏まえて、私たちスポ



さいたま市見沼区支部

さいたま市体育指導委員連絡協議会 村田正二

スポーツ推進委員は寝たきり老人防止のため、一人でも多く家に居る人をいかに外に出して運動の場を提供していこうかと努めてきております。地区でのグラウンドゴルフ大会、スポーツフェスティバル等の企画運営を積極的に行うことにより、これらも少しでも皆さんのお役にたてるよう精進して参ります。



上尾市

上尾市スポーツ推進委員連絡協議会 栗田 尚

上尾市は埼玉県の南東部に位置し、人口二十二万七千人の緑豊かな都市です。上尾市体育指導委員連絡協議会はスポーツ振興法に基づき、昭和三十八年に七名でスタートしました。現在、スポーツ推進委員は四十四名。その活動状況を紹介します。

スポーツ推進委員連絡協議会主催行事として、まず五月、約一千名の高齢者が参加する「いきいきライフ大運動会」、七月には「小学生ドッジボール大会」、十二月には、ファミリィバドミントン大会を。さらに新年二月には、小中学生・一般約四百人が集る「市民駅伝競走大会」を開催します。

この他スポーツ推進委員として、十月には市内各地域から上

尾運動公園陸上競技場に集まり盛大に開催される「市民体育祭」全国各地から約一万人が参加する十一月の「上尾シティマラソン」や、委員会活動や各地域・公民館や諸団体などの活動があり、なかなか気を抜くことが出来ません。

上尾市は昭和五十一年五月の「スポーツ都市宣言」以降、スポーツの底辺拡大と振興に努めています。

私たちは常日頃「スポーツ都市宣言」上尾市として恥じない活動を目指しています。

埼玉県各市町村のスポーツ推進委員の皆さん、緑豊かな上尾市に一度は、足を運んでみてくださいます。



「新任体育指導委員」になって



さいたま市体育指導委員連絡協議会
西部 洋二

私は、平成二十三年四月に、さいたま市長より体育指導委員の委嘱をうけました。地域のスポーツ活動に参加している際に出会った委員の方に、お声を掛けていただいたのがきっかけでした。自分で体を動かすことが好きだったので、数多くの事業に参加していましたが、指導となると、果たして自分に何ができるのかと、多少不安がありました。

しかし、研修会やセミナーに参加して、活動の内容や目的を少しずつ理解していくうちに、委員の仕事は、実にやりがいのあることだと思いました。

私の初めての事業は、ファミリーバドミントン大会でした。それまで、ファミリーバドミントンというスポーツを全く知らなかったのですが、事前に諸先輩に教えていただいたおかげで、当日は大勢の市民の皆さんと楽しく過ごすことができました。

こういった、スポーツ活動を通じて、子どもから高齢者に至るまで、幅広い世代の人たちの交流が広がることや、スポーツの楽しさを共感できることは、とても素晴らしいことだと思いました。

さいたま市は、基本理念として「市民一スポーツ」を目指しています。老若男女を問わずスポーツの楽しさを味わっていただくために、私はこれから、いろいろな研修や事業に参加して、自己研鑽し、資質を向上していきたいと考えています。そして、地域のスポーツ振興の推進役として、積極的に活動していきたいと思えます。

平成23年度埼玉県体育指導委員協議会役員

役職	氏名	市町村	役職	氏名	市町村	役職	氏名	市町村	役職	氏名	市町村
顧問	新井博勝	坂戸市	理事	関山 繁一	白岡町	評議員	下田 英吾	朝霞市	評議員	鈴木由喜夫	吉見町
会長	宮嶋 武志	春日部市	理事	江木 克己	八潮市	評議員	佐々木 真人	和光市	評議員	関口 房雄	東松山市
副会長	深谷 隆	さいたま市	理事	鷲内 郁夫	久喜市	評議員	高橋 恵子	志木市	評議員	茂木 一郎	深谷市
副会長	山野 辺範一	新座市	理事	高橋 むつみ	蓮田市	評議員	栗田 尚	上尾市	評議員	横村 久夫	上里町
副会長	新井 威夫	鶴ヶ島市	理事	進藤 俊郎	春日部市	評議員	大沼 忠儀	桶川市	評議員	徳世 忠司	美里町
副会長	藤井 範子	熊谷市	会計	大熊 一郎	加須市	評議員	西川 慶一	伊奈町	評議員	鈴木 正人	長瀨町
理事	村田 正二	さいたま市	会計	松島 良一	加須市	評議員	山田 上	川越市	評議員	星野 勇	神川町
理事	萩原 登代子	川口市	監事	佐々木 清純	ふじみ野市	評議員	晝間 達夫	入間市	評議員	出浦 勲	小鹿野町
理事	宮澤 通雄	北本市	監事	茂木 一郎	深谷市	評議員	宮寺 敏雄	所沢市	評議員	兒玉 清則	秩父市
理事	曾山 保男	鴻巣市	幹事	鷲内 郁夫	久喜市	評議員	田辺 芳雄	飯能市	評議員	浦島 則之	横瀬町
理事	若山 芳男	所沢市	幹事	樋口 一雄	毛呂山町	評議員	加藤 連治	富士見市	評議員	岡田 王春	松伏町
理事	樋口 一雄	毛呂山町	幹事	萩原 登代子	川口市	評議員	堀木 豪	ふじみ野市	評議員	和田 孝	三郷市
理事	須賀 憲	川越市	事務局長	浪江 好治	さいたま市	評議員	濱口 新一郎	坂戸市	評議員	本橋 幸夫	蓮田市
理事	橋本 秀樹	狭山市	評議員	柳 満	さいたま市	評議員	遠藤 清	日高市	評議員	江森 俊幸	幸手市
理事	阿部 洋行	川島町	評議員	牧野 奈津子	さいたま市	評議員	岩鼻 昭夫	越生町	評議員	鈴木 三四郎	吉川市
理事	杉田 清	ときがわ町	評議員	吉川 保	さいたま市	評議員	吉野 浩之	三芳町	評議員	杉山 康昌	宮代町
理事	黒澤 保雄	寄居町	評議員	平林 仁	川口市	評議員	島田 勇子	小川町	評議員	小原 孝	杉戸町
理事	岩上 孝夫	皆野町	評議員	坂田 政司	草加市	評議員	篠崎 英明	滑川町	評議員	真田 賢市	久喜市
理事	新井 光夫	本庄市	評議員	加山 雅昭	蕨市	評議員	大澤 久保	嵐山町	評議員	大熊 一郎	加須市
理事	川嶋 二郎	行田市	評議員	大味 秀誌	戸田市	評議員	平田 景子	鳩山町	評議員	小暮 勝久	羽生市
理事	池ノ谷 一郎	越谷市	評議員	池田 眞一	鳩ヶ谷市	評議員	富田 矩夫	東秩父村			

事務局長の就任あいさつ



事務局長
浪江 好治

寒さ厳しき季節、時下ますます清祥の段、お喜び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

この度、埼玉県体育指導委員協議会 事務局長を平成二十三年八月命ぜられましたので、ごあいさつを申し上げます。

早速ですが、昨今のスポーツを取り巻く環境が大きく変化しており、スポーツ基本法の施行により体育指導委員からスポーツ推進委員となり、また、全国体育指導委員連合の公益法人への見直しにより公益性の求める団体変ろうとしております。このような状況の中、事務局長の大役を命ぜられましたことに深く感銘を受けております。

まことに未熟者ですが、埼玉県民への生涯スポーツの普及拡大及び定着に向け微力ながら、誠心誠意努力をして参りたいと思っております。前任者同様、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつと致します。

埼玉県体育指導委員セミナーに参加して



熊谷市体育指導委員協議会

手島 守

平成二十三年七月二十三日(土) 上尾市のスポーツ

総合センターに於いて埼玉県体育指導委員セミナーが開催され、その研修に参加させていただきました。普段は体育指導委員として自分の役割をあまり意識せずに活動を行っていましたが、今回の研修に参加したことで体育指導委員としての責務を自覚することができました。

講義の中で話がありました。平成二十三年六月十七日はスポーツ振興法が全面的に改正され新たに「スポーツ基本法」が成立しました。従前のスポーツ振興法が東京オリンピックの開催を控え制定され、施設整備等に主眼が置かれていたのに対し、スポーツ基本法ではスポーツ権の確立「スポーツ立国の実現」を目指すことを目標にしています。推進、実現のために体育指導委員(今後はスポーツ推進委員)として、地域住民のニーズを把握し、行政とともに「住民の誰もが」参加できる生涯スポーツの企画・運営に積極的に参画していかねければなりません。そのためには生涯教育の一環としてスポーツのよさを地域に少しでも多く広めていきたいと考えていくようになりました。

現在、私は小学校に勤務していますので、学校教育の中で子どもに指導を行っています。今回の研修を通じて体育指導委員という立場を考えると『子ども達にもより多くのスポーツの楽しさを体験させて』生涯を通じてスポーツを愛する土台作りをしていこうと考えています。

実技研修会の講師を行って



深谷市体育指導委員協議会

井上 まち子

平成二十三年十月一日(土)、第一回研修会の実技内容に「鴨んバレー」

が取り上げられ深谷市が講師に依頼された事は、普及に後押しをされたようで、とても良い機会に恵まれたと思います。

「鴨んバレー」という事で、気軽に準備を始めましたが、内容確認をしていく中で、新採用したルールや若干変更したルールの成文化がされていない事に気付き、まずはその見直しと整備に十分に時間をかけました。その後、特徴を解りやすく伝える事、いかに楽しんでいただけるかを念頭に掲げシミュレーションを行い、役割分担を確認しながら打ち合わせを重ね、当日に備えました。

当日、多くの不安を抱え緊張の中開始した研修会でしたが、進行するにつれ、参加者の皆様からの質問が的確であったことや、競技の特徴であるワンバンドとそれに関連したプレーを十分に理解し、全てのコートにおいて「鴨ん！」の掛け声が飛び、真剣に練習に取り組んでいる姿勢に、その不安は一掃され、改めて各体指の資質の高さを晴らしさを実感いたしました。

終了後、皆様から「楽しかった」「簡単で良かった！」等の多くの声掛けを頂き、講師としての達成感を覚えるとともに、今後の励みとなりました。

最後に、作り出す大切さや実行に移す勇氣そして、簡単に楽しく伝える工夫など、講師として必要な事を再確認することができ、また、反省すべき点も見出す事が出来ました。この貴重な経験を、深谷市体育指導委員協議会が一丸となって今後の活動に生かしていきたいと思

います。
皆様、ご協力ありがとうございました。

深谷市体育指導委員協議会

深谷生まれのニュースポーツ **鴨んバレー**

「鴨んバレー」
誕生の背景

平成十六年開催の埼玉国体で、深谷市が少年男子バレーボールの競技会場に決定した。それを受けて「バレーの町、深谷」にふさわしい、「誰でも気軽に参加できる、バレーボールのニュースポーツを」考案しようとして、深谷市バレーボール連盟と深谷市体育指導委員協議会から委員が選出され、「ニュースポーツ専門委員会」を設置し平成十二年三月、「鴨んバレー」が誕生した。

名称「鴨んバレー」
の由来

サーブの時、レシーブ側が「さあ、ボール来い」の気持ちを含めて「カモン！」と発声すること、深谷名産のネギから連想される鴨料理の『かも』との語呂合わせから、「競技の特徴と、深谷生まれのニュースポーツ」を表す名称であると決定された。

スポーツ推進委員とは

1 スポーツ基本法の施行

「スポーツ基本法」が成立し、平成23年6月24日に公布されました。さらに、平成23年7月27日にスポーツ基本法の施行期日を定める政令(平成23年政令第231号)が公布され、平成23年8月24日から施行することになりました。

スポーツ基本法は、昭和36年に制定されたスポーツ振興法(昭和36年法律第141号)を50年ぶりに全部改正し、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であるとの考えに立った新しい時代におけるスポーツの基本理念を掲げ、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めたものです。

2 体育指導委員からスポーツ推進委員に名称変更

体育指導委員の役割は、近年、スポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言のみならず、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整としての役割が重要性を増していることから、スポーツ基本法第32条では、こうした職務が規定上追加されるとともに、当該職務をより適切に表す観点から「スポーツ推進委員」に名称が変更されました。この法律の施行に伴い、平成24年4月からを体育指導委員も「スポーツ推進委員」に名称を変更します。

平成24年度 埼玉県スポーツ推進委員協議会事業計画 (予定)

平成24年4月～25年3月

月	日	曜	事業名	会場
4	14	土	監査会(午後)	スポーツ総合センター206
5	12 26	土 土	第1回(新・旧)理事会 表彰式・評議員会(午前)	スポーツ総合センター205・6 スポーツ総合センター講堂
6	1・2	金・土	関東スポーツ推進委員研究大会	長野県松本市
7	7 28	土 土	第2回理事会 スポーツ推進委員セミナー(1日)	スポーツ総合センター205・6 スポーツ総合センター講堂・アリーナ
11	29・30	木・金	第53回 全国スポーツ推進委員研究協議会	長崎県長崎市
2	2	土	第2回 研修会	スポーツ総合センター講堂・アリーナ
3	23	土	第3回 理事会(午前)	スポーツ総合センター205・6

発行にあたり、ご協力下さった皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

編集後記



2012年 スポーツ推進委員手帳

定価850円(税込、送料別)

◎表紙裏はスポーツ推進委員の「身分証明証」になっています。

お申し込み・問合せ先

埼玉県体育指導委員協議会事務局
TEL・FAX 048-779-7537

(社)全国体育指導委員連合機関誌

みんなのスポーツ

毎月、地域スポーツ振興のための諸問題の特集
全国の体指の実践事例、生涯スポーツ情報満載

年間購読料 5,200円(1冊440円/B5判・48頁)

◎お申し込み・問い合わせは、**市町村体指事務局**、又は
日本体育社(TEL(FAX) 03-3811-6911(6290))まで